

リハーサル室(地下1階) 7月4日 13:00~15:00

	演題番号	発表者	演題名
神経系1	1	川見清豪	脳卒中片麻痺患者に対する認知運動療法
	2	奥埜博之	被殻出血後に運動単位の過剰な動員が顕著に現れた一例
	3	生野達也	運動性失語を呈した左半球損傷患者における認知課題の展開
	4	天野暁文	慢性期脳卒中片麻痺患者に対する認知運動療法の効果
	5	片岡保憲	関節がどのように動いたかはわかるのに身体各部位の位置関係がわからない左片麻痺患者
	6	沖田学	身体と運動を誤認する右片麻痺患者
	7	清水重和	異種感覚情報変換に困難を呈したBroca失語の一症例
	8	福岡知之	感覚情報間の整合性が図られたことで肩の痛みが軽減した一症例
	9	平井久美	脳卒中片麻痺患者の上肢に対する認知運動療法の効果
	10	加藤祐一	肘関節の運動制御を学習した慢性期片麻痺患者の一症例
	11	平本美帆	重度の感覚障害、運動麻痺を呈した脳卒中片麻痺患者の上肢に対する認知運動療法
	12	青木修	弛緩性麻痺の脳血管障害片麻痺患者に対する認知運動療法
	13	木俣信治	異種感覚統合に着目したアプローチ
	14	小寺有里子	全盲の左片麻痺患者に対する治療経験
	15	小森健史	失語症を呈した症例に対する概念図を用いた思考の援助
	16	中西一	失語症に対する聞くことからのアプローチ
	17	浅田純一	治療における対話の重要性・部分的注意から全体的注意へ
	小児	18	八坂一彦
19		木村正剛	かがみ肢位を呈す痙直型脳性麻痺児に対し認知運動療法を展開した一症例の検討
高次脳	20	藤本智久	新生児行動評価と修正18ヶ月の発達指数との関係
	21	人見眞理	脳性麻痺児の治療モデル試案
	22	浅野大喜	全身伸展筋緊張亢進による後弓反張姿勢を呈する重度四肢麻痺児へのアプローチ
	23	富永孝紀	右大脳半球損傷例における視覚的手掛かりの有無が認知過程に与える影響
	24	沖知実	左半側空間無視患者におけるサビタイジング課題中の脳活動
	25	河野正志	左半球損傷例における視覚-視覚の情報変換課題中の脳活動
NIRS	26	玉木義規	失行症を整理する
	27	信迫悟志	知覚仮説の違いが大脳皮質運動関連領域に及ぼす影響
	28	谷口博	重度感覚麻痺を呈した脳卒中左片麻痺患者における選択的注意誘導中の脳活動
	29	市村幸盛	運動錯覚が脳血管障害患者の随意運動の発現に及ぼす影響
	30	湯川善裕	脳卒中片麻痺患者における振動誘発運動感覚錯覚中の脳活動
	31	櫻木美嘉	脳卒中片麻痺患者における手指対立の可否による脳活動の相違について
	32	小野洋平	脳卒中片麻痺患者において困難な運動と可能な運動の運動イメージ想起時の脳活動の相違
	33	浦千沙江	脳卒中片麻痺の実運動と運動イメージにおける特異的病理の制御の可否による脳活動の相違
	34	末吉夏子	脳卒中片麻痺患者における立位姿勢制御改善前後での脳活動の変化
	35	竹内奨	脳卒中片麻痺患者に対する認知問題における感覚モダリティの違いが脳血流量に及ぼす影響
イメージ	36	大植賢治	慢性期脳卒中片麻痺の肩の運動機能回復に伴う脳活動の継続的变化
	37	藤本昌央	レトリック言語による運動イメージの選択
	38	田中貴士	脳卒中片麻痺患者の運動イメージ想起能力に影響する因子の検討
	39	高木泰宏	運動イメージの想起困難な症例に対しての圧課題の検討
	40	進藤隆治	「内的な意志」を含む行為を用いることは運動イメージに有効か
	41	佐藤剛介	頸髄損傷者のトップダウン処理と身体イメージの関係について
	42	山田隆介	運動イメージの想起とミラーボックスの有効性
	43	佐藤智哉	視覚・運動イメージを使用することで特異的病理の軽減が認められた一症例
整形	44	本田慎一郎	認知運動療法における患者の「気づき」と自覚
	45	中野英樹	遷延持続化したトレンデレンブルグ徴候に対する認知運動療法の一考察
	46	福澤友輝	膝の運動時痛を呈した膝蓋骨骨折患者の治療を通じて
	47	平川善之	運動機能向上に影響する能動的知覚能力と運動イメージ能力に関する一考察
	48	前田真依子	変形性関節症患者の身体認識
	49	前田真依子	SD法を用いた身体系言語の分析
	50	勝山洋平	正座獲得のために下肢の荷重機能に注目した一症例
	51	三上恭平	「膝が消える」と記述した右ACL再建術後の症例
	52	安田圭吾	左右の感覚情報の整合性を改善することにより身体図式の改善がみられた一症例
	53	小島彰子	志向性の変質を捉えることで認知問題をより明確にすることができた一症例
	54	平川陽	慢性的に強いしびれ・痛みを呈した1症例
	55	木村陽子	整形外科複数疾患を持つ認知症高齢者の言語的表出の変化と姿勢に対する注意の変化があった症例
	56	水野智之	足部打撲後の廃用症候群により足底圧覚・力量感覚の認識が困難となった一症例
	57	山下浩史	足関節脱臼骨折症例の歩行アプローチ
	58	小楠智加	前足部の知覚を促す認知運動課題にて膝の重さが改善した症例
	59	堀口拓己	「存在感」に着目したセラピストの経験

多目的室(1階) 7月4日 13:00~15:00

神経系 2	60	玉置裕久	慢性的な異常感覚を呈した症例に対する認知運動療法
	61	西村 聡二	右片麻痺と両側失調症を呈した一症例
	62	尾崎正典	自己の身体に気づくことで機能回復の向上がみられた一症例
	63	松下 侑史	二重膝作用が消失した一症例
	64	長内央臣	眩暈による動作障害を呈した小脳梗塞一症例に対する認知課題の有用性の検証
	65	遠藤彩香	記憶に問題を呈した片麻痺患者に対する認知運動療法
	66	森永博江	認知運動療法における認知的介助と身体的介助の重要性
	67	平谷尚大	足枷という重み
	68	山本健太郎	症例の過去の経験から引き出されたメタファーによる認知過程の活性化
	69	猫島貴彰	身体の現れ方
	70	橋間葵	脊髄小脳変性症患者の手の情報メカニズムを再構築する
	71	小柳津章允	糖尿病性の末梢神経障害により痺れを呈した一症例
	72	西村 清陽	認知課題で呼吸方法を促がすことにより麻痺側接地時の言語記述が変化した一症例
	73	鈴木智善	『目の端』に一体性のある経験を据えることで訓練に進展がみられた一症例
認知	74	平井達也	物理的差異から認知的差異への変換
	75	篠田麻衣	身体イメージの変質により、睡眠障害をきたした症例に対する治療の試み
	76	橋本弘子	ダンスセラピー時に用いる言葉の違いが動きに及ぼす影響の検討